

四月よみとりおけいこ③（低）

名まえ（

ユリカモメなどの冬のわたりどりが北にかえり、ツバメがタイやカンボジアなどの東南アジアのあたりから日本にやってきました。

ツバメはきょうとではだいたい四月に見かけられるようになります。人げんがタイにいこうとおもうと、スリケースをもつてひこうきにのつて六じかんくらいかかりますが、かれらはにもつなじで、しかもじぶんの力でたびをします。お弁当さえもちません。

かれらのたべものは空中をとぶ力やガ、ハエなどの小さな虫ですから、お弁当がいらないのも当然といえば当然なのですが、あんなに小さな体なのにすごいですね。

ツバメはズズメとちがつて、人にならうところにすをつけります。ズズメのことはお米をたべるわるいとりとかんちがいして、おいらつてきた日本人ですが、お米をたべないツバメのことは大むかしからあたたかくみまもつてきたからでしょうか。

でも、ツバメからみれば、人のいえにすをつくるほうがひなをたべてしまふへビやイタチやキツネなどをさけることができるのでつじうがいいのです。ふつうの木の上などにすをかけると、へビはするするとのぼつてしましますからあつといいうまにひなはたべられてしまうのです。すが人のいえにあつたらへビもこわがつてよりつきませんしね。

東南アジアのツバメの中には、かいそうですをつくるグループがいて、そのすは中国では最高級食材としてしられています。だからって、日本ではすをたべてはダメですよ。日本のはどうでできていますから。

音どくサイン→

① なんというどりのはなしですか？

② ツバメはどこから日本にやってくるのですか？
③ 東南アジアへはひこうきでどのくらいかかりますか？

④ ツバメのたべものはなんですか？
⑤ スズメはほんとうにわるいどりなんですか？
⑥ なぜツバメを日本人はあたたかくみまもつてきたのですか？

⑦ ツバメが人のちかくにすをつくるのはどうしてですか？
⑧ あつている文に○をつけましょう。
（一）へビは木のぼりがじょうずだ。
（一）イタチやキツネはくさをたべるどうぶつだ。
（一）ツバメのすはどれもおいしい。
（一）日本のツバメのすはどろでできている。

⑨ おもつたことを四行にまとめましょう。

できばえは？

